

アタマジラミに注意してください！

近隣の学校や保育園などでアタマジラミが流行しているようです。アタマジラミの流行は暑い時期に限らず、一年中みられます。

アタマジラミは伝染病の一種です。集団生活の中で、友達と遊んだり、触れ合ったりする機会のある人は、だれでも感染する可能性があります。「不潔にしているからうつる。」というわけではありません。むしろ、沢山のお友達と仲良く遊べる子や、シャンプーも一人できる子が感染する場合があります。

うつったからといって、決して恥ずかしがることはないのですが、そのまま放置しておくとどんどん人に広がり、自分自身もかゆくていられなくなります。子どもだけでなく、家中の人に感染してしまうことも多いようです。

予防は、①毎日シャンプーする ②髪を短くする ③タオルやブラシ・帽子などをお友達と貸し借りしないこと です。

時々髪の毛（←男の子は前髪、女の子は耳の後ろから後頭部あたりが卵の見つかりやすい場所です）をかき上げて、卵がついていないかどうかお家の人に見てもらいましょう。アタマジラミの卵はフケと似ていますが、フケは指で触るとすぐに動きます。卵はしっかりと髪の毛にくっついていてなかなか離れません。しらみそのものはなかなか見つけることはできないので、感染しているかどうかは、卵があるかどうかで判断します。

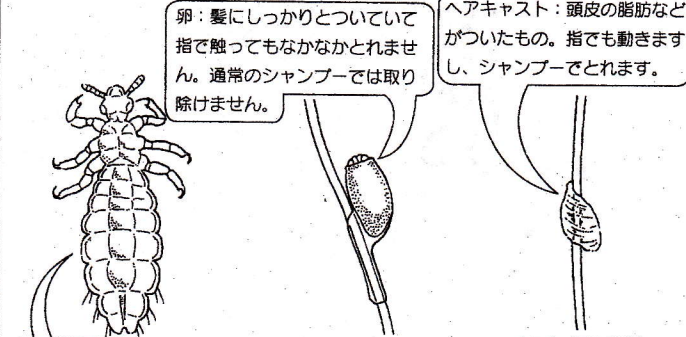
アタマジラミが見つかったら、駆除は、①卵のついた髪の毛を切る（できるだけ一度に済ませ、切った髪の毛はビニール袋に入れ密閉し捨てます） ②毎日シャンプーする（しっかりと大人の人に洗ってもらう） ③スミスリンパウダーやシャンプーを使用する（薬局で買えます。卵には効果はありません）

④枕カバーやシーツ、パジャマを毎日洗濯し、アイロンをかける 等です。

アタマジラミが見つかった場合は、集団感染の心配がありますので、担任の先生か保健室に教えてください。また、お家で判断がつかない場合や、駆除について詳しく知りたい時は、保健室にお知らせください。

アタマジラミの基礎知識

アタマジラミは、ノミやカのような吸血昆虫で、成虫、幼虫ともに頭皮から血を吸います。血を吸われた側頭部から後頭部にかゆみが出ますが、寄生直後ではなく、繁殖を始める1か月後くらいから症状がでます。



成虫：ふつうのシャンプーで取り除けます。

ヘアキャストは卵と見間違えやすい